

## シリーズ「子どもの居場所ニュース」Vol.8 ままらんぼ母親クラブ：あうら／東根市 「すべての子どもたちを地域で支えていく環境づくりを目指して」

東根市において家庭的雰囲気にあふれた「あうら」（子ども食堂・子どもの居場所）を運営している「まもらんぼ母親クラブ」代表の細谷由紀さんにお話を伺いました。

「子どもたちの成長には体験活動が不可欠だと感じています。地域の力を大にお借りして、畑での野菜収穫、食事づくりの手伝い、ケーキ・お菓子づくり、居場所のペンキ塗り、たき火子どもお斎灯など、子どもたちが挑戦したいことに取り組み、自己肯定感や自己有用感につなげるのが一番のコンセプトです」と明るく話してくださいました。

印象に残るできごとをお聞きしたので紹介します。

中学生女子でなかなか学校に登校できず家の中にいることが多かったA子さん。子ども食堂の開催を知り、自らお手伝いをしたいと食事作りに参加した際に、みんなにクッキーを作ってきてくれました。食した皆さんより「おいしい！上手だね」と褒めていただき、これが評判になりました。以後、Aさんは子ども食堂で手伝う機会がめっきり増えました。多くの人に認められたことで自信につながり、できることが増え、挑戦する気持ちも出てきました。さらに、「将来は児童心理学を学んだり保育の勉強をしたりして子どもたちに寄り添った仕事をしたい」と頼もしい夢を語っています。

「大人のスタッフが子どもたちから学び勉強になっています。支えていただいている地域の力に

感謝の気持ちでいっぱいです」と細谷さんは子どもたちの目覚ましい成長に目を細めていました。

「活動の紹介は市を通してのチラシ配付とLINEの公式アカウントのみでゆるやかにしています。困り感を持ち、本当に支援を必要としている親と子どもに気持ちを届けるためには焦らずに進めていく方がよいと考えています」と子どもを真ん中に据えた考えをお聞きできたことがとても印象的でした。



「まもらんぼ母親クラブ」  
細谷由紀代表

また、「現在は東根市内にある子ども食堂3団体とネットワーク「つむぐ」を通して連携・協力していますが、今後は、新しく開所する子ども食堂や地域の高齢者と手を結び、それぞれの特性を大いに生かし子どもたちの成長支援をしていきたい。地域の力が合わさる場になることが目的です。そして、子どもたちが自分のニーズに合った活動を選べるようになれば、さらに子どもの育ちにつながる」と細谷さんは一歩先をはっきりと見据えていました。今後の発展が楽しみです。

村山総合支庁は、これからも子どもたちの笑顔のために活動する皆さんを応援していきます。

（子ども家庭支援課 TEL:023-627-1151）



みんなでお斎灯



子ども食堂のおいしいごはん



居場所の壁にペンキ塗り